

2024 年度事業報告

(2024年4月1日 ~ 2025年3月31日)

I. 事業活動

1. 奨学金の支給

(1). 奨学金の支給

外国人留学生18名(うち1名は9月末卒業)に毎月18万円(総額 3,780 万円)を支給した。内訳別の支給人数は、下表のとおり。

当該年度内に卒業等により給付が終了した奨学生は3名である。

大学別	人数	国・地域別	人数	修博別	人数
東京大学	4	韓国	8	修士	10
早稲田大学	3	中国	3	博士	8
東京科学大学	3	インドネシア	3	合計	18
東京農工大学	2	モンゴル	1		
一橋大学	1	マレーシア	1		
慶應義塾大学	1	オーストラリア	1		
電気通信大学	1	パキスタン	1		
千葉大学	1	合計	18		
横浜国立大学	1				
立教大学	1				
合計	18				

(2). 2025年度新規奨学生の募集、選考

2024年度内に卒業等により給付の終了が見込まれた奨学生の数及びその所属大学並びに今後の財団収支の見通し等を考慮し、理事会が決定した大学に対して推薦依頼を行った。3月12日に選考委員会を開催し、推薦された留学生より下表のとおり奨学生を選考した。

大学別	人数	国・地域別	人数	修博別	人数
東京大学	1	中国	1	修士	2
早稲田大学	1	台湾	1	博士	1
東京農工大学	1	カンボジア	1	合計	3
合計	3	合計	3		

2. 研究活動補助金の支給

学会での研究発表や研究調査活動あるいは論文投稿等の研究活動への補助について、9名の奨学生より申請があり、総額72万円の支給を行った。

3. 交流行事の実施

奨学生を対象とする月例会を下表のとおり行った。また、地方への研修旅行（草津・軽井沢方面）、会報35号の発行等を行った。

行事の実施状況は毎回ホームページにアップした。

日時	内容	場所
4月17日	奨学証書授与式及びオリエンテーション	AP 品川アネックス
5月22日	自己紹介(研究内容など)	清澄庭園大正記念館
6月26日	研修旅行の企画案を考えるグループワーク	小石川後樂園涵徳亭
7月17日	「国立能楽堂ショーケース」(能・狂言鑑賞)	国立能楽堂
10月23日	9月卒業生の研究発表(1名)、学会参加に関する学生によるミニパネルディスカッション	田園調布せせらぎ館
11月28日	「百段階段」(建物とアートの鑑賞)	目黒雅叙園
12月14日	年末懇親会	九段会館
1月9日	「チームラボボーダレス」(デジタルアート鑑賞)	麻布台ヒルズ
2月26日	3月卒業生の研究発表(2名)、財団卒業生との座談会	SHIBAURA HOUSE
3月6日	卒業祝賀会	銀座ブロッサム

II. 法人管理

1. 評議員、理事、監事、委員等の状況

2025年3月末現在におけるそれぞれの氏名及び主な兼職の状況は、下記のとおりである。

(1). 評議員

竜田 邦明	早稲田大学栄誉フェロー、名誉教授
堂免 一成	東京大学特別教授、信州大学特別特任教授
鈴木 啓介	東京工業大学栄誉教授、特命教授
杉山 健一	東京大学社会連携本部相談役
深川 由起子	早稲田大学政治経済学術院教授
岸尾 光二	東京大学名誉教授
細田 衛士	慶應義塾大学名誉教授、東海大学副学長

(2). 理事

岩崎 正洋 (代表理事)	—
飯島 康一 (業務執行理事)	—
佐藤隆一郎	東京大学名誉教授、東京大学大学院特任教授
太田 和夫	電気通信大学名誉教授、特任教授
西原 寛	東京大学名誉教授、東京理科大学特任副学長
田村 次朗	慶應義塾大学名誉教授
田中 一弘	一橋大学教授

(3). 監事

山内 信哉	—
山本 昌弘	公認会計士山本昌弘事務所

(4). 選考委員

飯島 康一	—
山口 和也	東京大学教授
イエシュ ラウレアン	国立研究開発法人理化学研究所チームリーダー
岩崎 英哉	明治大学専任教授、電気通信大学名誉教授

2. 評議員会、理事会、その他会議の開催

(1). 評議員会

開催日・回数・場所	内容
2024年6月11日 (第15回) 学士会館	第1号議案 議長選任の件 第2号議案 2023年度決算 第3号議案 定款及び評議員会運営規程の一部改定 第4号議案 評議員及び役員の報酬等並びに費用に関する規程の一部改定及び評議員・理事・委員報酬及び交通費に関する内規の廃止 報告事項 2023年度事業報告

(2). 理事会

開催日・回数・場所	内容
2024年5月22日 第53回 電磁的開催	第1号議案 2023年度事業報告 承認の件 第2号議案 2023年度計算書類 承認の件 第3号議案 「第15回定時評議員会」招集 決定の件
2024年6月11日 第54回 学士会館	第1号議案 「選考委員会規程」「資金運用規程」「事務処理規定」の一部改定 第2号議案 事務局長選任 報告事項 理事長、常務理事の職務執行状況報告
2025年3月6日 第55回 銀座プロッサム	第1号議案 奨学金支給規程等の改定(案) 承認の件 第2号議案 2025年度事業計画(案) 承認の件 第3号議案 2025年度収支予算(案) 承認の件 第4号議案 資金調達及び設備投資の見込を記載した書類(案) 承認の件 報告事項 理事の職務執行状況について 選考委員会の開催について
2025年3月19日 第56回 電磁的開催	第1号議案 2025年度奨学生(新規採用奨学生 3名、継続奨学生 15名)採用及び継続の件

(3). その他

会議等名	開催日・場所	内容
監事監査	2024年5月15日 財団事務所	2023年度事業報告及び決算書類等の監査
選考委員会	2025年3月12日 お茶の水ソラシティ	2025年度奨学生(新規採用奨学生 3名、継続奨学生 15名)採用及び継続の選考

3. 許認可、定期提出書類の提出等

内容	提出日	提出先
事業報告等の提出	2024年6月27日	内閣総理大臣(電子届出)
事業計画書等の提出	2025年3月14日	内閣総理大臣(電子届出)

4. 組織運営に関するその他の事項

(1). 職員の状況

当期末における事務局職員は、2名である。

(2). ガバナンス強化等に関する事項

規程等の見直しを順次行っており、当該年度は定款のほか、評議員及び役員の報酬等並びに費用に関する規程、事務処理規定、奨学金支給規程、研究活動補助金支給規程及び奨学生交流行事規程等について、評議員会または理事会決議により一部改定を行った。

事務処理規程に基づき理事長、常務理事及び事務局による業務執行会議を開催し(当該年度は10回)、様々な業務方針の共有化、立案をタイムリーに進めた。

経理業務の外注化により、適切な役割分担によるチェック体制の強化が図られており、また公認会計士から専門的知識に基づく適切なアドバイスを受けている。

当該年度にPCやサーバ等の更新及びサポート契約の締結を行い、データのバックアップ体制及びセキュリティを強化した。

III. その他

当財団の事業活動及び法人管理についての報告内容は以上のとおりであり、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」は存在しないので、附属明細書は作成しない。

以 上